

株式会社 ビック・ママ (青葉区)



北目町本社

- ◆ 設 立 1993年
- ◆ 代 表 者 代表取締役 守井 嘉朗
- ◆ 事業内容 衣料品等修理サービス業
(縫製/洋服の補正、寸法直し等)
- ◆ 障害のある方の雇用状況
従業員150名中障害のある方3名
(内訳) 身体障害者 1名
精神障害者 2名
- ◆ ホームページ: <http://www.big-mama.co.jp/>

入荷、仕分け作業



縫製技術者の育成 × 障害者雇用

～双方にとってのメリット～

障害のある方の雇用が、これまで課題であった縫製技術者の後継者育成という問題を解決してくれました。

これまで障害のある方を何人か雇用した経験から障害のある方と縫製業務との適合の可能性を感じていたことと、採用してくれる企業が少なく困っている障害者がたくさんいるという話を聞いていたことから、企業・障害者の双方にとってメリットがあると考えました。

ミシンを使った裾上げ



障害のある方の受入れ準備

～実習・訓練でマッチングを検討～

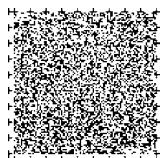
採用にあたっては、仙台市障害者就労支援センターの協力のもと見学会を数回実施し、希望者を随時実習・訓練で受入れて業務適性などを確認した上で採否を決めました。マッチングについてしっかり検討することができる実習・訓練は、働く方と雇用する側どちらにとっても有効な手段と考えるビック・ママでは、今後も見学会、実習・訓練でマッチングを図りながら、障害のある方の雇用を継続的に行っていく方針です。

障害のある方の受入れ効果

～業務効率と社内の雰囲気向上～

ビック・ママでは、障害者雇用をきっかけに作業工程、分担を見直したことで、会社全体の業務効率化につながりました。また、従業員一人ひとりが情報や意思をわかりやすく丁寧に伝えることの大切さに気づき、コミュニケーションが細やかになり、社内の雰囲気もよりよくなったそうです。

一人前の縫製技術者になるには経験が必要ですが、ベテラン従業員がOJTでしっかり指導しながら時間をかけて育成する体制を整えています。



袖口の糸ほどこき

